

2 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	郡谷	参加 メンバー	2・19 登山 CL:江頭、SL 天野、亀山、町田、金子、沼崎、郡谷、油井、佐溝、浜島、青山、塚本 2.19 ゲレンデスキー 岸上、渡辺、渡辺(い)、須藤 亀山(奈)
		報告日	3/9		
山 域	奥美濃	山行日	11 年 2 月 18 日 (金) ~		
山 名	野伏ヶ岳		20 日 (日)		
山行目的	2 月度例会、雪上技術と親睦深める		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図:

2/18(金)
19:30 N1 駐車場発
22:00 民宿おしたに 着

2/19(土)
6:30 起床
7:00 朝食
8:00 民宿発
8:50 林道口発
9:50 一本
10:05 発
10:45 一本(和田山牧場)
11:00 発
12:00 一本(尾根)
12:30 発
13:20 山頂
13:50 発
16:40 駐車場着

2/20 (日)
7:00 起床
7:30 朝食
8:30 各班目的地へ
11:30 餅つき大会
13:00 民宿発
15:30 駐車場着後、解散

2/18(金) 晴れ
私(郡谷)にとって山岳部に入って初めての例会、初めての冬山であり、期待で胸をいっぱいにして集合場所へ向かう。町田車、金子車に分かれ予定通り石徹白へ向かい出発。到着後、懇親会を翌日に備えて早々と眠りにつく。

2/19(土) 晴れ
朝6時半起床。雲ひとつない快晴。スキー・ボード班はイトシロシャローットへ。山班は、当初は大日ヶ岳に登る予定だったが、昨夜の懇親会にて野伏ヶ岳も捨てがたいという話しになり、今日は野伏ヶ岳の山頂を目指すことになった。町田さん・金子さんは山スキー、亀山さん・江頭さんはスノーシュー、天野さん・沼崎さん・私(郡谷)はワカンと、各自準備をいざ出発。
天野さんを先頭に林道を歩き始める。途中、林道の中の急な斜面をジョー下ガツ下しながら進む。
全て新調の装備のため、私はストックの扱い方もままならない状態で、歩きながら長さ調整し、歩き始めはやや遅れる。天野さん、亀山さんに続き一歩一歩確実に雪を踏み締める。だんだん慣れていき、ペースもちょうどよく心地よいリズムになってくる。あつという間に1時間が経過。天気が抜群に良いため暑く、上着を脱いで体温調節をする。特に沼崎さんの汗がすごく、顔中から汗が吹き出していた。
しばらくすると和田山牧場跡に着き、開けた景色に感激する。雲ひとつない青空に澄んだ空気が気持ちよく、白い山々がとても美しい。「本当に来て良かった」と声に出して言うが、ここで満足するのはまだ早い。足が雪に埋もれ始めたのでワカンを装着。牧場からダイレクト尾根を眺めると1時間ほど先に出発したもみの木会の方たちの姿が見え、追いつけるかな? と思いながらダイレクト尾根へ向けて一気に登っていく。亀山さんがスノーシューで足跡をつけてくれたため、とても登りやすかった。しかし尾根につくまでの間にワカンの紐がゆるみ、装着し直す。その間にすっかり遅れをとる。途中ワカンからアイゼンに付け替えた。待っていてくれた町田さんの「天気が良いからゆっくり登っても大丈夫」との言葉にほっとし、心にゆとりができる。
尾根から稜線に上がるところで、もみの木会とすれ違う。励ましの言葉を頂き、山頂へ。360°見渡せる素晴らしい景色と初めての冬山登頂に感無量。亀山さんからカップヌードルを頂き、舌鼓をうつ。

下山も快調に足をを進める。山スキー組と時間に差ができてしまうが、携帯電話でやりとりをし無事合流。無事下山。終日天気が良く、とても気持ちの良い山行でした。

2/20(日) 晴れ
スキー班はイトシロシャローット、山班はスキー場横の山、散策班は神社と、各自満喫。
午後からはおしたにさんが準備をしてくれた、栃餅つきを楽しむ。栃餅は粘りがありもちりとし、風味も良かった。一緒に豚汁も頂き、体が暖まる。片付け後、おしたにさんに挨拶をし帰路につく。お疲れさまでした。

〈リーダー所見〉 絶好の天候に恵まれまず感謝。OBの皆さんとの野伏ヶ岳を目指し、タイミングこそ違ってしまったが、山行が全員でピークを踏めた。感謝感謝。駕谷さんご夫妻の金婚のお祝いも、チームワークよろしく「糸」の合唱でお贈り出来、参加メンバーの一体感も共有出来た。餅つき大会は栃の実を入れてもらって石徹白の味を満喫させて頂いた。



確認 (リーダー)
*
//**
*
作成 (報告者)
*
//**
*